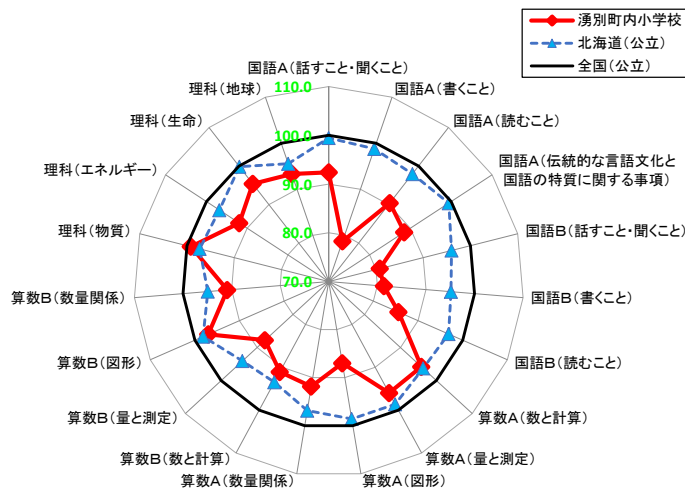


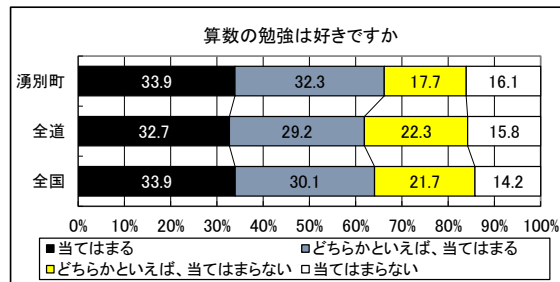
■湧別町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:6校、児童数:62人)

【教科全体の状況】

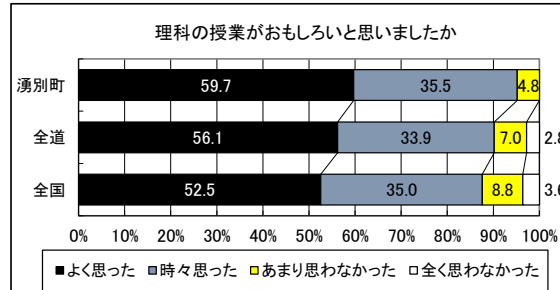
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



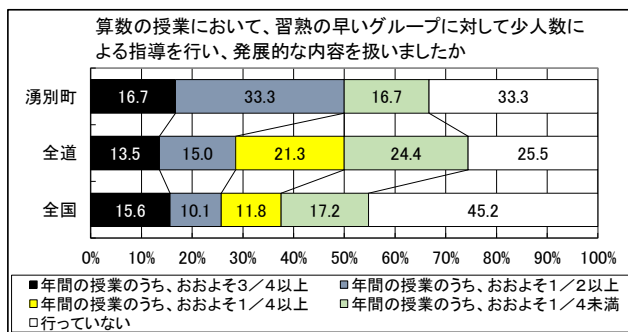
【児童質問紙調査】



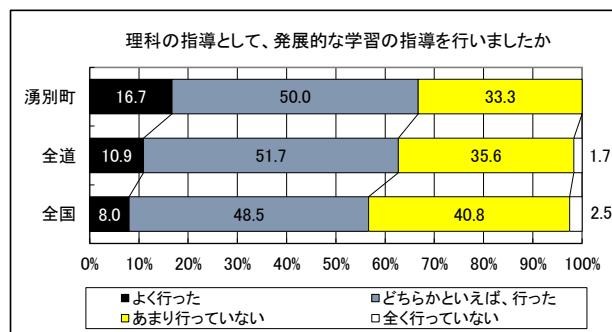
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「物質」で全道を上回っている。	○ 算数の授業において、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱ったことにより、個に応じた指導の充実が図られ、「算数の勉強は好き」と回答した児童の割合が、全国と同様となったと考えられる。
児童質問紙	○ 「算数の勉強は好き」と回答した児童の割合が、全国と同様となっている。 ○ 「理科の授業がおもしろい」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 理科の指導として、発展的な学習の指導を行ったことにより、理科の授業に意欲的に取り組み、「理科の授業がおもしろい」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「算数の授業において、習熟の早いグループに対して少人数による指導を行い、発展的な内容を扱った」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「理科の指導として、発展的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

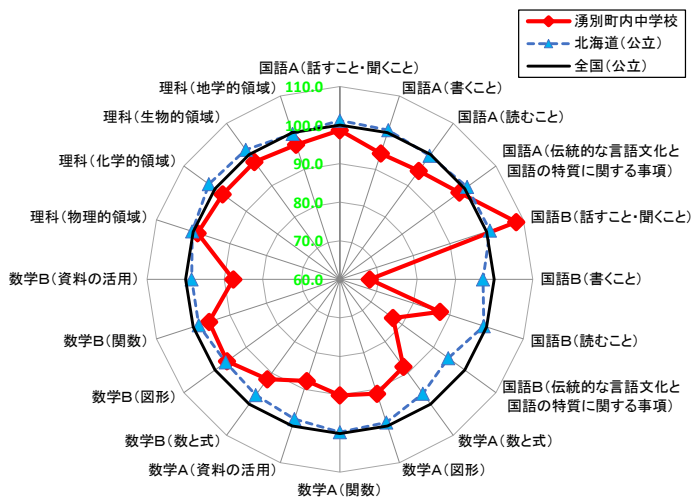
【湧別町の学力向上策】

- ◎ 各学校における学力向上改善プランの作成
- ◎ 全国学力・学習状況調査等を活用した授業改善や学習習慣の確立
- ◎ 発達障がい支援成果普及事業における発達障がいの児童の理解、校内研修プログラム活用事例集を活用した取組の充実
- ◎ 小学校における非常勤講師の配置の増員
- ◎ ティーム・ティーチングによる指導や習熟度別少人数指導等を活用した学習内容の確実な定着
- ◎ 学校図書室支援事業による読書活動の推進

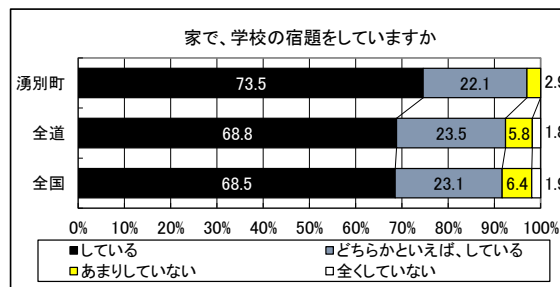
■湧別町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:66人)

【教科全体の状況】

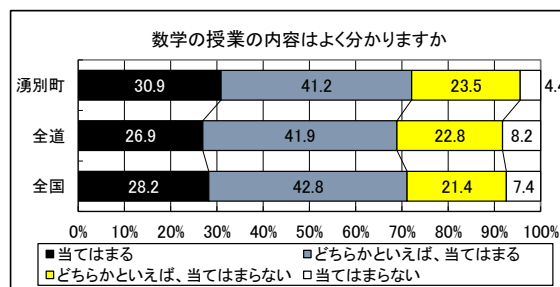
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



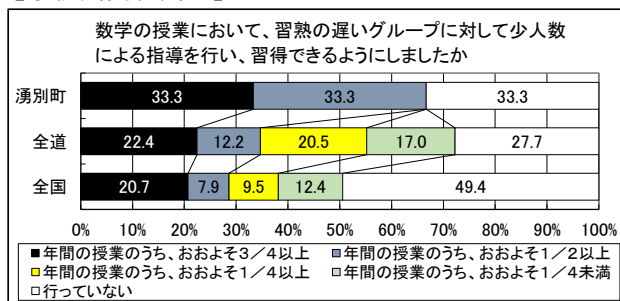
【生徒質問紙調査】



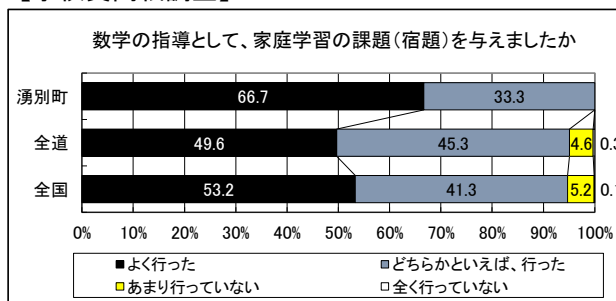
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学A・Bでは、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「物理的領域」で全国に最も近くなっている。	○ 数学の授業において、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしたことにより、個に応じた指導の充実が図られ、「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「家で、学校の宿題をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 授業と関連付けた宿題を与えるなど、家庭学習において予習や復習ができるように工夫したことにより、学習習慣の定着が図られたと考えられる。
学校質問紙	○ 「数学の授業において、年間の授業のうち、おおよそ3/4以上、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えた」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。	

【湧別町の学力向上策】

- ◎ 各学校における学力向上改善プランの作成
- ◎ 全国学力・学習状況調査等を活用した授業改善や学習習慣の確立
- ◎ 発達障がい支援成果普及事業における発達障がいの生徒の理解、校内研修プログラム活用事例集を活用した取組の充実
- ◎ ティーム・ティーチングによる指導や習熟度別少人数指導等を活用した学習内容の確実な定着
- ◎ 学校図書室支援事業による読書活動の推進